

2009年度 図書館所蔵資料展報告

■白山図書館

太宰治生誕100年	5月25日(月)～6月27日(土)
ガリレオが見た宇宙	7月6日(月)～10月10日(土)
ダーウィン生誕200年 ～『種の起源』から150年～	10月19日(月)～1月30日(土)
ギリシャ哲学への問い	2月23日(火)～5月15日(土)
横浜開港と江戸・明治のくらし	ホームカミングデー 11月8日(日)



▲白山図書館 横浜開港と江戸・明治のくらし

■川越図書館

東洋大学ゆかりの著名人	5月11日(月)～5月30日(土)
近代建築の巨匠	6月8日(月)～6月27日(土)
万葉集	7月1日(水)～8月1日(土)
百人一首	11月5日(木)～11月28日(土)
横浜開港150年 ～幕末期の列国と開国～	12月1日(火)～12月22日(火)



※4館の巡回展として、「横浜開港150年～幕末期の列国と開国～」を実施いたしました。



▲川越図書館 横浜開港150年

■朝霞図書館

絵本の世界 ～子どもと一緒に読んでみよう～	4月22日(水)～6月30日(火)
横浜開港150年 ～幕末期の列国と開国～	7月6日(月)～7月31日(金)
遊びとレクリエーション	8月17日(月)～10月30日(金)
住宅をデザインする	11月16日(月)～1月30日(土)
わたし達の東洋大学	3月15日(月)～4月30日(金)



▲板倉図書館 横浜開港150年

■板倉図書館

「食」と健康	6月15日(月)～6月28日(日)
横浜開港150年 ～幕末期の列国と開国～	11月16日(月)～11月27日(金)
古河藩家老 鷹見泉石 ～洋学をもとめて～	12月7日(月)～12月18日(金)
学祖 井上円了を知る(常設展)	上記期間以外

2009年度 図書館ガイダンス報告 各図書館で、学部の特色に合わせたガイダンスを実施しました。

新入生ガイダンス	白山・第2国際・川越・朝霞・板倉	図書館の概要および受けられるサービスの説明
図書館ツアーリ	白山・第2国際・川越・朝霞・板倉	図書館職員が引率して実際に図書館を回りながら、施設と利用方法について説明
情報検索基礎実習	白山・第2国際	蔵書検索システム「OPAC」を使いこなすための実習
授業別申込制ガイダンス	白山・第2国際・川越・朝霞・板倉	図書館職員による情報検索実習(教員からの希望制)
個別申込制ガイダンス	白山・朝霞	各参加者の希望に添った、少人数形式での情報収集方法教授および実習
データベースガイダンス(※)	白山・第2国際・川越・板倉	外部講師を招き、レポート作成や就職活動に活かすための検索テクニックに関する講習

※実施データベース…●J-DREAMII(川越) ●ジャパンナレッジ・プラスN(白山・第2国際・板倉) ●Web of Science(川越・板倉)
●Factiva.com(白山) ●日経テレコン21(白山・第2国際)

図書館では毎年度、レポートや卒業論文作成等に役立つガイダンスを定期的に実施しています。開催日程については図書館ホームページや館内ポスターにて随時お知らせいたしますので、積極的にご参加ください。

表紙デザイン

ただてるとし
多田 光利 総合情報学部 教授

■解説

21世紀の社会は、科学技術の急速な発展により、生活に関わるあらゆる分野で情報技術に依存するようになりました。ますます国際化・高度情報化する中、東洋大学図書館で学べる知識や経験が、社会が求める豊かさの実現に繋がっていくことを願っています。

表紙のデザインは、東洋大学生の瞳に映った地球をイメージしました。

物事を視覚的に俯瞰から捉えることも現代社会で可能になった考え方です。



NO. 151

2010

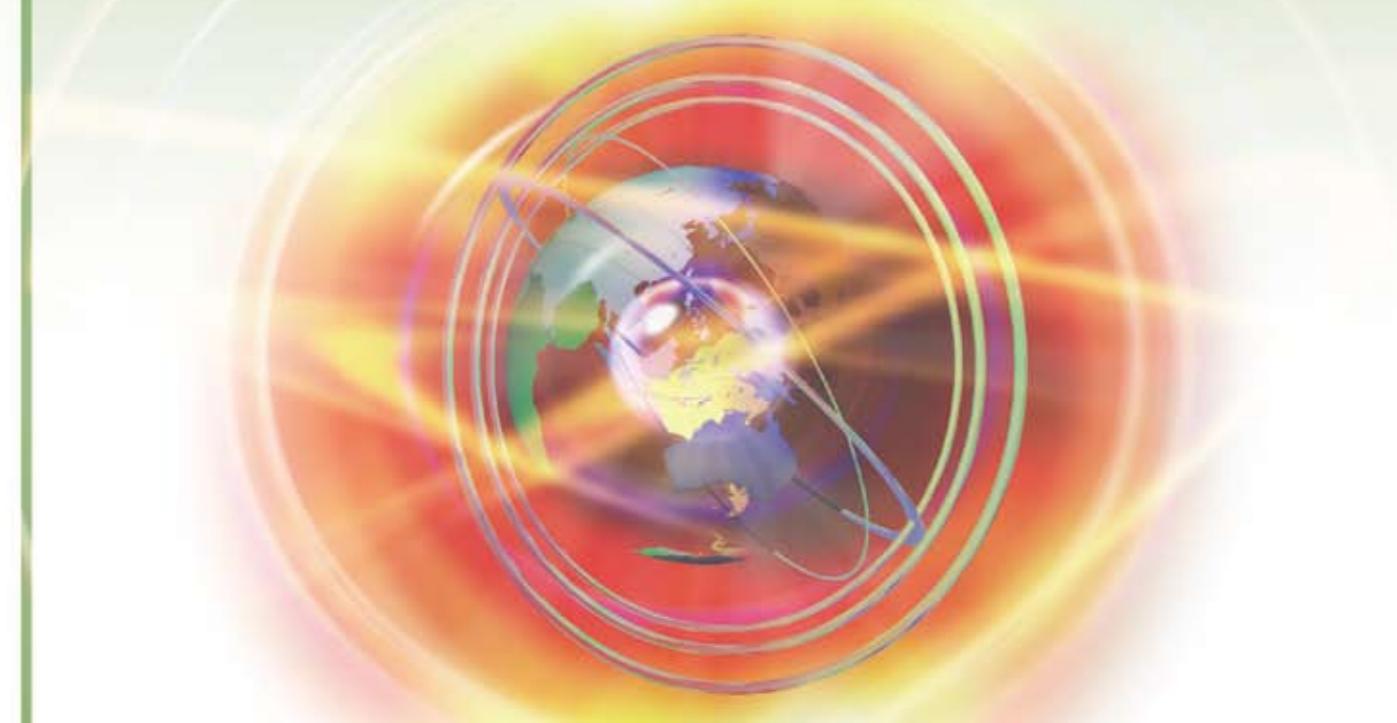
東洋大学図書館ニュース・コスモス

21世紀の図書館
夢の探究場

K O Σ M O Σ

<http://www.toyo.ac.jp/library/>

Library for making your dream.



Contents

- ◆ 館長・副館長挨拶……2
- ◆ 学長特別寄稿:図書館で学ぶことのすすめ……3
- ◆ 図書館経由で情報を～現代の図書館サービスを理解する～……4
- ◆ おすすめの一冊……5-6
- ◆ 貴重資料紹介……7
- ◆ 2009年度 図書館所蔵資料展・ガイダンス報告……8





図書館長就任にあたって

みやうち あつお

宮内 敦夫

生命科学部 教授

○専攻・専門分野・所属学会等

英語、英米文学、文体論、比較文化

日本文哲論学会(常任理事)等に所属

○著書・論文

『小説の文体』(単著)文化書房 1996年

『視点一オピニオン21』(共著)上毛新聞社 1999年

『住民と歩む公民館のあり方』国際地域学部紀要10号 2007年 ほか

学祖井上円了先生は、明治29年の年頭の挨拶の中で、哲学館を東洋大学と改名し、東洋学研究の拠点としていたといふ。そのためには、「大学には付属図書館がなければならない。大学に図書館がないのは、兵士に武器がなく、銃に火薬がないのと同じであつて、東洋大学に国書、漢書、仏教書を揃えた東洋図書館があつて、はじめて東洋学を樹立することができる」といふことを述べ、人々の協力を求めた。(『井上円了の教育理念』より)

それから今日、東洋大学附属図書館は白山図書館、川越図書館、朝霞図書館、板倉図書館で構成され、130万冊以上の蔵書を有する巨大な図書館であります。

本学図書館の果たすべき役割は、教育・研究活動が円滑にできるようにするための教育基盤であり、学生・教員・研究者への研究支援体制であります。これは時代の変遷を経ても不变です。のために、われわれ図書館関係者は、各館相互の連携を図り、利用環境を一層整備して、学生・教員・研究者が不自由のない学習

研究活動ができるように、図書資料の充実とサービスの向上に努めなければならないと改めて痛感する次第です。

白山図書館をはじめ各キャンパスの図書館は、それぞれの学部・大学院の教育・研究体制の基盤として、特色ある図書資料の個性的形成を推進しています。そのためには、学生・教員・研究者の要望を一層取り入れます。図書資料の充実のために、教員・学生の選書収書への一層のご協力を改めてお願ひします。

次に利用環境の整備ですが、それはいつでも利用できることと迅速かつ丁寧な利用者対応であると思います。特に白山図書館は6学部および大学院の学生・教員・研究者が昼夜集中して利用している図書館でありますので、施設の一層の充実を図る必要があります。また法科大学院と国際地域学部のある白山第2キャンパスでの利用者サービスの更なる向上を目指します。

利用環境の整備の中で、閉館時間の延長は看過できない問題であります。海外の大学図書館には24時間利用可能な図書館は多くあります。閉館時間延長の実現のためには人件費等諸問題がありますが、真剣に取り組んでまいります。

図書館の地域住民への開放は、地域貢献度の高いものであります。利用者の要望を尊重して気軽に利用してもらえるように努めてまいります。

今日、知的情報は書籍からデジタル媒体へと急速に移行しております。データベース・電子ジャーナルへの移行等、利用者の要望に即して必要な対応を引き続きとります。

図書館の充実は、一人でも多くの方に図書館を利用していくべき、利用者の要望をいかにとり入れていくかが重要です。学生の皆さんにはインターネットからの情報知識で事済ませることなく、図書資料を十分に活用し、役立ててくれることを切に希望します。

東洋大学附属図書館 副館長(白山図書館) 挨拶



副館長就任の挨拶および図書館利用のすすめ

うすき みつお

薄木 三生

国際地域学部 教授

○専攻・専門分野・所属学会等

自然地理学、環境教育論、国際環境協力、自然環境保全、エコツーリズム
環境行政学会、東北地理学会、日本熱帯生態学会等に所属

○著書

『箱舟の動物たち』(単著)筑地書館 1989年

『熱帯雨林を守る』(共著)NHKブックス 1992年

『国際環境共生学』(共著)朝倉書店 2005年 ほか

IT、インターネット媒体の発展およびその凄まじい広がり方に目を見張るものがあり、私たち団塊の世代の仲間の多くは、個人差はあるものの概してIT社会化的最先端を走っているわけでもなく、そんなに不得手分野でもないと若干ながら斜に構えているというのが一般的な立場であります。

別な見方をすれば、高額のEncyclopaedia Britannicaを購

入してリビングの棚の飾り物の役目しか与えていなかったり、数十巻の英会話教材を買い込んだあげく実際には耳に当てる時間が無かったという現象が我々の世代ではよく起こっていましたが、現在見られる、膨大な資料の検索…検索・検索…Copy & Pasteに時間とエネルギーを使ったあげく、オリジナルなレポート作成にはなかなかたどり着かないという現象は同根であるように見えます。即使う、即使える身近なものから始めて、早めにオリジナルな思索…検索ではない…に突入することが肝要ではないかと考える次第です。

今流行の脳科学分野では、手で書く作業(含むメモ取り)→ワープロ・PCに手で打ち込む作業→携帯で言葉の選択ボタンを押す作業の順に、脳の血流量が減少することが解っています。即ち、脳が使われなくなっている。使われなくなった器官はいずれ退化するのが宿命ですから、そうなつたら大変です。

このような観点から、東洋大学白山図書館は即身近に頻繁に使える館を目指すとともに、早めに検索を済ませた学生諸君、市民そして教職員が容易に思索に入り、思索をめぐらすことができるような館のあり方と環境づくりを考えていきたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

学長特別寄稿

図書館で学ぶことのすすめ

およそ10年前、4ヶ月ほどアメリカの大学、UCロサンゼルス(UCLA)に遊学した時があった。UCLAのキャンパスは、広大なゆるやかな斜面で、ほぼ美しい芝生でおおわれており、多くの大きな校舎の中に、ひとときわ重厚で芸術的な建物の図書館があった。それは文字通り、大学の物理的中心に位置するとともに、大学の「知」の中心であり象徴であることが、すぐに理解された。その事情は、サンフランシスコのUCバークレイでも同じであった。以来、私は、大学の中心は図書館であると確信している。文学部長時代は、新入生に図書館こそが大学の中心であることを、必ず伝えてきた。

図書館を中心であるということは、大学では、さまざまな図書を同時に参照しつつ学ぶことがもっと大切である、ということを意味している。一般に、大学は授業を受ける場であり、それさえ終わればあとは自由だと考えられていよう。しかし大学での学びは、単に授業に出さえすればそれでよいというものではない。授業を受けるにも、本来、予習が想定されているのであり、また授業後の復習も想定されている。実はそうした予習・復習を行うことが、大学での学習の本来の姿なのである。特にアメリカ等の大学では、毎時間のようにレポートの提出が求められたりして、図書館で勉強せざるを得ないことになる。

したがって、図書館が開いている時間は、UCLAでは、翌日の午前2時までであった。というのも、レポートの作成等のために、学生の切実なニーズがあるからである。学生にとっての学習の場を十全に提供する、そのことが、図書館の重要な任務なのであった。

そういうわけで、図書館が大学の中心であるということは、単に図書が多く所蔵されていてその借り出しの場であるからではなく、大学での学びのために必要な学習を行う場であるからなのである。むしろその自主的な学習こそが大学生活の中心であり、その一環に授業もあるという見方をすべきであろう。実は大学生ともなれば、本来、自分が学びたいことを自分で見つけ出し、課題を自覚し、その究明のための勉強を自ら行っていくことを、人生の根本に据えるべきである。その自ら学ぶということに、終わりはない。生涯にわたって、知識を増やし、教養を身につけ、心を深めていくことによって、自己はどこまでも豊かになっていく。大学時代には、この、生涯、自ら学んでいく道を歩み始めているのであるし、そこでは授業以外での勉強こそが主であってよく、その実践のために

も、図書館の利用が鍵となるはずである。

本学の学生も、このことをよく理解し、図書館を勉強のための場として、積極的に活用してほしいと思う。そのための施設が用意されているのであるから、これを利用しない手はないであろう。もし勉強する学生が當時たくさんいることによって、図書館が手狭になってしまったならば、大学はさらに充実した学習スペースを用意するであろう。

UCLAでは、主に教育用に供されているその象徴的な中央図書館のほかにも、研究用の図書館(リサーチ・ライブラリー)の建物が分野別に別途存在し、私の利用するそれの中には、東亞図書館のフロアもあった。そこは和本や漢籍等のみを集めた図書館で、我が國でも眼にすることが珍しい貴重な古い本も多数並べられていた。さらに教員研究室のそばにも、貴重な図書を中心とした雰囲気のよい図書室があり、そこで時間を過ごすことも可能であった。大学がいかに図書を用いた学習・研究のための施設を重視しているかが分かり、まことにうらやましいほどであった。

今後、本学の図書と学習・研究をめぐる環境も、さらに充実させていきたいものである。



たけむら まさお

竹村 牧男

東洋大学学長
文学部 教授

○学位・称号等

博士(文学)(東京大学)
筑波大学名誉教授

○専攻・専門分野・所属学会等

仏教学 宗教哲学
日本印度学仏教学会、日本宗教学会、比較思想学会、
東方学会等に所属

○著書

『唯識三性説の研究』春秋社 1995年(学位論文の刊行)
『西田幾多郎と鈴木大拙』大東出版社 2004年
『正法眼藏講義—現成公案・摩訶般若波羅蜜一』大法輪閣 2005年
『入門 哲学としての仏教』講談社現代新書 2009年
『成唯識論』を読む』春秋社 2009年 ほか

○受賞等

日本印度学仏教学会賞(1984年)
日本宗教学会賞(1986年)
第17回中村元東方学術賞(2007年)
井上円了賞(2008年)

図書館経由で情報を ~現代の図書館サービスを理解する~

多くの人にとって、図書館のイメージは今でも「本がたくさんあって、静かに勉強ができるスペース」だろうか。大学の図書館は、小中高校の図書室と比較すると桁違いに大きい。初めて館内に足を踏み入れた瞬間、高い書架にぎっしり詰まった本の数に驚き、知の集積の巨大さに圧倒される。

これは間違いなく図書館の姿ではあるけれど、現代の図書館の本領は、眼前的本の膨大さにあるのではない。図書館にはない情報にも図書館経由でアクセスできること、個人では調達ができなかったり困難だったりする資料や情報資源でも、図書館を経由すると効率よく入手できること、これこそ図書館の注目すべき機能である。

日常の情報入手にインターネットは欠くことができない。大学での学習、研究における情報入手も同様で、ググってすぐに得られる情報は不可欠である。しかし、必要な情報がすべてデジタル／ネットワーク化しているわけではない。また、ネット上にあっても、すべてがググって直接アクセスできるわけでもない。このような情報を要領よく探し、調達できるかどうか、それが大学での勉強の出来を大きく左右する。

ここで力を発揮するのが図書館の多様なサービスである。これを活用せずに、図書館の本を借りるだけでは大損である。すぐに使える主要なサービスをいくつか紹介しよう。

■有料情報検索サービス、電子ジャーナル

ネット上には契約をして料金を支払わなければ利用できない情報提供サービスがたくさんある。学術情報では、文献検索サービスや電子ジャーナルなど、このタイプのものが多い。新聞も、過去の記事データベースは有料である。このようなサービスのうち主要なものは大学の図書館が契約をしている。学生は学内のPCから図書館のホームページ経由でこれらのサービスを自由に使える。図書館にない雑誌やググっても手に入らない情報が手に入る。個人で契約できないサービスも、自分で支払ったらすごく高いサービスも、図書館経由だと無料で利用できる。

■複写サービス、相互貸借サービス

電子化されていない本や雑誌で東洋大学の図書館にないものは山ほどある。もしそれが他の図書館にあ

れば、図書館同士の協力体制ができているので図書館のカウンターで手続きをすると、図書館経由でコピーを取り寄せたり（複写サービス）、現物を借り出したり（図書館相互貸借サービス）してもらえる。だから、ゼミの発表で「資料が図書館にありませんでした」と安直に言ってはいけない。

■レファレンスサービス

調べ方がわからない、調べたけれどわからない、そんな時には迷わず図書館員に相談するのがよい。情報探しの相談を受ける仕事はレファレンスサービスと言い、図書館の基本サービスの1つである。利用者はこのサービスを意外と知らずに、自分で見つけられないで諦めてしまうことが多い。図書館員は情報探索、資料調査のプロフェッショナルだから、いろいろな情報源を知っていて、どのような場合にどのようなサービスをどのように使えばよいかを熟知している。必要ならば図書館員経由でよその図書館や機関に問合せて調べてもらうこともできる。

図書館は、今後ますます図書館の外にある情報へのアクセスサービスを強化していく。建物や閲覧室の姿はそのままでも、図書館の機能は進化し続けている。図書館へまったく行くことなく図書館の様々なサービスを利用する時代が間もなくやってくるだろう。

とだ しんいち
戸田 慎一
社会学部 教授

○専攻・専門分野・所属学会等
図書館情報学
日本図書館情報学会、情報処理学会等に所属

○研究テーマ
情報検索、ネットワーク情報資源の組織化

○著書
『学術情報と図書館』(共著)雄山閣出版 1999年
『電子図書館:デジタル情報の流通と図書館の未来』(共著)
勉誠出版 2001年
『図書館情報学用語辞典 第3版』(共編著)丸善 2007年
『情報アクセスの新たな展開:情報検索・利用の最新動向』(共著)
勉誠出版 2009年 ほか

おすすめの一冊

ほんの10数年前まで、図書館と言えば膨大な情報にアクセスできる唯一と言ってもいい場所でした。時代を遡れば、現在のような図書館が存在しない時代もありましたし、活版印刷が発明されるまで本は宝石のような贅沢品だったのです。その後も一般市民が個人で本を買うことなどは考えられない時代が各国で長く続き、今現在でも満足に本や教科書を手に入れることができない地域が世界中にあることは皆さんご存知でしょう。日本のある地域では、庶民が知恵をつけると為政者にとっての脅威になることから、あえて本を庶民から遠ざけるという政策がとられた時代すらありました。知識は大いなる武器なのです。

本学附属図書館では、本や雑誌は勿論、CDやDVD等多種多様な媒体を所蔵しており、国内外のオンラインデータベース等も自由に利用できるような環境を用意しています。

『とにかく図書館に来て、書架を眺めよう！気になった本を手に取ってみよう！そして、たくさん本を読もう！』
思いがけない本との出会いが待っているかもしれません。

図書館を賢く 利用しよう

だから人は本を読む

福原義春

東洋経済新報社 ISBN:9784492043462

2010年は「国民読書年」です。社会に出る前の、比較的時間が自由に使える大学生のうちに、たくさんの名著に触れてください。

所蔵館 川越

図書館のプロが教える(調べるコツ): 誰でも使えるレファレンス・サービス事例集

浅野高史+かながわレファレンス探検隊

柏書房 ISBN:9784760129904

実際の事例をもとに、図書館の利用方法・調べ物の参考になる情報を紹介しています。図書館利用の入門書としてお薦めです。

所蔵館 板倉

“読書の時間を大切にしなさい。
一冊の本との出会いがあなたの
生き方を変えてくれることだって
あります。”

Joseph Murphy(1898-1981)

現代社会について 考えてみよう

集中講義!アメリカ現代思想: リベラリズムの冒険

仲正昌樹

日本放送出版協会 ISBN:9784140911204

軍事と金融ばかりが注目されがちなアメリカの背景にある思想を俯瞰できる一冊。この本を起点にアメリカの思想を勉強することができます。

所蔵館 第2国際

アイアコッカの直言

リー・アイアコッカ(仙名紀 訳)

朝日新聞社 ISBN:9784022556363

「犠牲を分かち合おう」病めるアメリカの再生と日米貿易摩擦解消のために、クライスターのアイアコッカ会長が歯に衣をきさせずに訴えます。

所蔵館 朝霞

職業としての政治

マックス・ヴェーバー(脇圭平 訳)

岩波書店 ISBN:9784003420973

国家とは何か、政治とは何か、非常に本質的な説明がされています。最近、日経BP社から新訳版もしました。

所蔵館 白山 朝霞

大学で何を学ぶか

浅羽通明

幻冬舎 ISBN:9784877287054

学者になるわけではない学生にとって、大学とはどんな意義があるのかを明快に解き明かした名著。発売後10年以上経ちますが、3月位になると書店に平積みにされます。大学生必読!

所蔵館 板倉 第2国際

動物化するポストモダン: オタクから見た日本社会

東浩紀

講談社 ISBN:9784061495753

日本の思想界で「一人勝ち」していると言われる東さんによるオタク論。リオタールやボードリヤールなどによる正統な議論を下敷きにしているので安心して読めます。パート2として、「ゲームのアリババの誕生」という本も出ています。

所蔵館 白山 朝霞

47都道府県・伝統食百科

成瀬宇平

丸善 ISBN:9784621080658

都道府県別にその土地の伝統食をコンパクトにまとめた本です。自分の出身地のことを食から知ろう。そして、食・日本を見直しましょう。

所蔵館 川越 朝霞 板倉

現代社会の理論: 情報化・消費化社会の現在と未来

見田宗介

岩波書店 ISBN:9784004304654

資本主義が社会主義をどのように超克してきたか、貧困をどう克服していくのか、等々現代を生きる我々にとって必須の知識がちりばめられた名著です。

所蔵館 白山 川越 朝霞 板倉

肉食の思想: ヨーロッパ精神の再発見

鶴田豊之

中央公論社 ISBN:9784121000927

土壌や気候によって、その地域で食べられるものが必然的に決まつてくる。生命維持に必須である「食糧の調達」が思想形成にどのような影響を及ぼすのか。食べ物について改めて考えさせられる1冊です。

所蔵館 白山 朝霞 板倉

おすすめの一冊

哲学的思想に
触れてみよう

働き方

福盛和夫

三笠書房 ISBN:9784837923107

働くことに迷ったり、悩んだりした時、また人生に迷った時に目標を持つことができる一冊です。

所蔵館 白山

知ることを
楽しもう

脳を休める：脳科学と睡眠の新しい常識

西多昌規

ファーストプレス ISBN:9784904336373

「一夜漬けは有效でない」など、睡眠に関するこれまでの常識を覆す一冊です。心身の健康維持のため、効率よく学習するための良い睡眠の方法などを、わかりやすく理解することができます。

所蔵館 板倉

自然農法わら一本の革命

福岡正信

春秋社 ISBN:9784393741412

砂漠の緑地化や肥料をやらない自然農法で知られる福岡氏の主著。農業は本来どうあるべきなのか?目から鱗の一冊。※この本は世界20カ国以上で翻訳されて、むしろ海外で有名だそうです。

所蔵館 白山

Spoon

Emilia Terragni

Phaidon ISBN:9780714842516

現代デザイナーによる家具などの工業作品を紹介した写真集。金属製の表紙などユニークな形態は必見です。洋書ですが、言葉への抵抗は抱かず一度手にしてみてください。

所蔵館 朝霞

文学で
感性を磨こう

現代学生百人一首

現代学生百人一首編纂実行委員会編

東洋大学

本書に触れることで、時代背景を直視したり、相手に対する思いやりの気持ちを育みながら、充実した学生生活を送ってください。

所蔵館 白山 川越 朝霞 板倉

風が強く吹いている

三浦しをん

新潮社 ISBN:9784104541041

東洋大学が2連続した箱根駅伝が舞台。個性的なキャラクター達の頑張る姿、思わず応援したくなります。

所蔵館 川越

カール・ロジャーズ入門：
自分が“自分”になるということ

諸富祥彦

コスマス・ライブラリー ISBN:9784795223653

日本における心理カウンセリングの「家元」と言ってもいい存在のロジャーズの思想、その本質が非常にわかりやすく書かれています。

所蔵館 白山 板倉

孤独について：
生きるのが困難な人々へ

中島義道

文藝春秋 ISBN:9784166600052

哲学者である著者が、病的なまでに苦しみ悩んだ青春の日々を綴った一冊。人間関係で苦しんだ時に是非。

所蔵館 朝霞

一商人として：所信と体験

相馬愛蔵

郷土出版社 ISBN:9784000001106

パンやカレーで有名な新宿中村屋の創立者であり、文化支援活動に尽力したことでも知られる相馬愛蔵の回想録。創業の経緯や、常に良質の商品を適正価格で販売するといった商売人としてのポリシーなど、戦前の著作ながら現代においても大変興味深いです。

所蔵館 朝霞

監督：挫折と栄光の箱根駅伝

川嶋伸次

パジリコ ISBN:9784862381385

箱根駅伝の総合優勝の礎を築いた川嶋元監督が、自らの体験を通して、描いた指導者のあり方・組織作り・コーチング、そして走ることの素晴らしさを教えてくれます。スポーツを志すのみならず必読です。

所蔵館 白山 川越

「伝わる英語」習得術：理系の巨匠に学ぶ
原賀真紀子

朝日新聞出版 ISBN:9784022732903

英語を学ぶ上の心構えが理解できます。理系の著名な6名の学者たちの経験談をはじめ、日本語と英語・日本人と英米人の違い、日本人が英語を学ぶときにはなぜかちなワナなどを、科学的根拠を交えて解説しています。

所蔵館 板倉

NHK気になることば：
調べてナットク意外な発見!

NHKアナウンス室編

東京書籍 ISBN:9784487803217

社会人になるための準備として、きれいな日本語を使える大人になります。

所蔵館 川越

イチローの脳を科学する：
なぜ彼だけがあれほど打てるのか

西野仁雄

幻冬舎 ISBN:9784344980754

生体医工学科から推薦のあった一冊です。タイトルでとっつきやすく、やさしく学び始めることができます。

所蔵館 川越

井上円了の教育理念：
歴史はそのつど現在が作る

東洋大学井上円了記念学術センター

東洋大学

東洋大学の創立者である井上円了の教育理念と、大学の歴史をわかりやすく紹介した一冊。個性ある大学として第2世紀目を歩む本学の、建学の精神・教育理念・そしてその歴史的意義を知ろう。

所蔵館 白山 川越 朝霞 板倉

貴重資料紹介

本学名誉教授故吉田幸一先生が永年にわたって収集・保存してこられた古典文庫旧蔵書のうち、東洋大学附属図書館が所蔵する貴重な書籍や絵画類のなかから、江戸時代の戯作者、十返舎一九(1765~1831)の作品をご紹介します。



どうかいどうちゅうひざくりげ
『東海道中膝栗毛』(初版本)

初編から五編までの10冊(六編以下欠)

十返舎一九作序・画 歌川豊國画

村田屋治郎兵衛[ほか]刊

享和二年(1802)~文化三年(1806)

書名は初編が「浮世道中膝栗毛」、二編が「道中膝栗毛」、三編より「東海道中膝栗毛」。十返舎一九の代表作であり、滑稽本の代表作でもある。

表紙は、淡い緑色地に濃い同色で熊手に丸内真字の一九の花押しが大きく刷られている。



どうけむしゃたいへいらく
『道化武者太平樂』

十返舎一九自筆・自画

江戸後期

文政十一年(1828)に鶴屋喜右衛門方から出版された十返舎一九作・春川英笑画の合巻の原稿。



どうけむしゃたいへいらく
『道化武者太平樂』

十返舎一九作 歌川國安 春川英笑画

鶴屋喜右衛門刊

文政十一年(1828)



せんめんしょが
『扇面書画』

十返舎一九自筆・自画

江戸後期

一九が自ら描いた絵に、狂歌を添えたもの。

扇面に西瓜売りと男の絵、狂歌「断うりの西瓜は屠蘇の袋かと目に正月をさするはつしもの 十返舎一九画譜 [印] 「貞」「式」一九の本名は重田貞一(しげたさだかず)。

現代学生百人一首

現代学生百人一首編纂実行委員会編

東洋大学

本書に触ることで、時代背景を直視したり、相手に対する思いやりの気持ちを育みながら、充実した学生生活を送ってください。

所蔵館 白山 川越 朝霞 板倉

風が強く吹いている

三浦しをん

新潮社 ISBN:9784104541041

東洋大学が2連続した箱根駅伝が舞台。個性的なキャラクター達の頑張る姿、思わず応援したくなります。

所蔵館 川越

文学で
感性を磨こう

現代学生百人一首

現代学生百人一首編纂実行委員会編

東洋大学

本書に触ることで、時代背景を直視したり、相手に対する思いやりの気持ちを育みながら、充実した学生生活を送ってください。

所蔵館 白山 川越 朝霞 板倉

風が強く吹いている

三浦しをん

新潮社 ISBN:9784104541041

東洋大学が2連続した箱根駅伝が舞台。個性的なキャラクター達の頑張る姿、思わず応援したくなります。

所蔵館 川越